



韓国アイスホッケー情報

# 韓国アイスホッケーチームが日本で熱戦中!

!

韓国のアイスホッケーチームが、日本で戦っています!

2003年、トップクラスのチーム数減少に悩む日本と韓国のアイスホッケー関係者の思惑が一致し、**韓国のチームと日本のチームで構成する「アジアリーグアイスホッケー(AL)」**が発足しました。

AL初年度の2003-2004シーズンでは、日本の4チームの他に、**韓国からハルラウィニア(現アニャンハルラ)**を加えた5チームによる総当たりのリーグ戦でした。

2008年9月20日に開幕した**アジアリーグアイスホッケー 2008-2009**は、韓国から**アニャンハルラ / (安養)**と**High1 / (春川)**の2チーム、中国からは**チャイナシャークス(上海)**が参加しています。日本は、**王子イーグルス(苫小牧)**、**日本製紙クレインズ(釧路)**、**SEIBUプリンスラビッツ(西東京)**、**日光アイスバックス(日光)**の4チームで、**合計7チーム**が6回戦総当たりのリーグ戦を**ホーム・アンド・アウェイ方式**で行なっております。



2008/10/5 SEIBUプリンスラビッツゴールを襲うアニャンハルラ  
会場:ダイドードリンコアイスアリーナ【撮影=手塚雅昭氏】

## ASIA Club Team No.1を目指して

アニャンハルラ(当初はハルラウィニア)は、AL初年度のシーズンで3位の成績を収めました。その後もAL3年目の2005-2006シーズンでも3位になり、健闘を続けています。

AL3年目となる2005-2006シーズンから参加した**High1(当時はカンウォンランド / )**は、参加初年度は7位で終わったものの、参加3年目 = AL5年目の昨シーズンはレギュラーリーグで2位(総合4位)となるなど、**両チームともに熱戦を繰り広げております。**

AL戦績	2003 -2004	2004 -2005	2005 -2006	2006 -2007	2007 -2008
アニャンハルラ (ハルラウィニア)	3位	5位	3位	6位	5位
High1 (カンウォンランド)	-	-	7位	3位	4位

また個人成績でも、2003-2004シーズンで、ハルラウィニア(当時)の**ソン・ドンファン( )**が**得点ランキング5位**の成績を残し、さらに2005-2006シーズンでは**得点王**を獲得しました。

2006-2007シーズンでは、カンウォンランド(当時)の**キム・ギョホン( )** :昨シーズンからアニャンハルラに移籍)が**得点ランキング&ポイントランキング3位**と、アジアにおいてもスキルの高さをアピールしています。

## ASIA LEAGUE ICE HOCKEY 2008-2009

そして今季のアジアリーグ2008-2009は、昨季レギュラーリーグ2位になりながらもプレーオフで破れ、総合順位が4位となったHigh1、レギュラーリーグ5位と不本意な成績に終わったアニャンハルラが雪辱を誓い、日本や中国のチームとアジアの覇権を争っております。

**レギュラーリーグは2009年1月25日まで**。5位以内に入れば、プレーオフへ進出することができます。

**日本で戦う韓国のチームを応援しませんか?**

!!

アジアリーグ公式サイト

<http://www.alhockey.jp>



正式名称 : アニャンハルラアイスホッケークラブ  
 英文名称 : Anyang Halla Ice Hockey Club  
 韓国語名称 : 안양한라 아이스하키단  
 本拠地 : 韓国 京畿道 安養市  
 ホームリンク : アニャンアイスアリーナ  
 ユニフォーム : ホーム (青)、ビジター (白)

# チーム紹介

## 【韓国伝統のチーム、ハルラ】

1994年12月、韓国アイスホッケー史上2番目のチーム「マンドウィニア( )」として創団。翌年の1995-1996シーズンに創設された韓国アイスホッケーリーグに参加、レギュラーシーズン1位となるが、プレーオフでソクタブ建設( = 現在は廃部)に破れ総合2位となる。

第3回リーグからハルラウィニアに名称変更。そのシーズンで初優勝を遂げると、レギュラーシーズンでは3大会連続1位を獲得。その後韓国リーグ通算5回の優勝を誇り、韓国アイスホッケー界において確固たる地位を築く。

アジアリーグ発足当時、日本との実力差を憂慮する声もあった。しかし5チーム中3位の結果となり、関係者を大いに驚かせた。

2004-2005シーズンより拠点をソウル近郊の京畿道安養市( )に定め、チーム名も「アニャンハルラウィニア」に変更。翌シーズンより「アニャンハルラ」となり現在に至る。

日本のアイスホッケー界との関係も深く、1996年から日光アイスバックスの前身である古河電工とホッケー交流を開始。1999年には日本製紙クレインズとの交流が始まった。

## K-Hockey Pick-up player!

韓国アイスホッケー界のスーパースター  
 ソン・ドンファン( )・FW 背番号96)

アジアリーグ発足直前の2003年、北海道苫小牧市で行なわれた、日本リーグ(当時)オールスターゲーム2003において、韓国から6人のプレーヤーが招待選手として出場した。

ソン・ドンファンはその中の一人としてプレーしたが、日本のスター選手を前に物怖じする事なく4得点を挙げ、大会 MVP を獲得した。この MVP 受賞で、ソン・ドンファンの名は日本のホッケーファンに知れ渡り、日本で最も有名な韓国人選手としてアジアリーグにその名を轟かせる事になる。

アジアリーグ発足初年度の2003-2004シーズンは全16試合に出場し17ポイント(10ゴール, 7アシスト)と活躍。2005-2006シーズンには31ゴールを上げ、得点王とベスト6に輝いた。



DFのマークをかいくぐるソン・ドンファン(右)【撮影 = MAKI】

しかしそのシーズン終了後、兵役のために一旦スティックを置き、2008年3月の除隊(公益勤務)と共に復帰した。そして11月27日現在で24ポイント(9ゴール, 15アシスト)と、2シーズンのブランクを感じさせない働きを見せ、攻撃陣の柱としてハルラを引っ張っている。

“アジアンロケット” ソン・ドンファンから目を離すな!

【ソン・ドンファン / ( )】

1980年2月4日生まれ

景福高校 - 高麗大学 - ドンウォン・ドリームス

## = Other Pick-up players =

ハルラ入団4シーズン目となるチェコ出身のポイントゲッター、パトリック・マルチネツ(FW・背番号43)や、ルーキーながら現在22ポイント(15ゴール, 7アシスト)を挙げ、新人王候補ナンバー1のキム・ギソン( :FW・背番号1)と、その相方パク・ウサン( :FW・背番号36)の華麗なコンビプレーに注目!

アニャンハルラの全選手紹介は、アジアリーグホームページ(<http://www.alhockey.jp>)もしくは、K-Hockey! サイト(URL 末尾記載)をご参照願います。



正式名称 : High1 アイスホッケーチーム  
 英文名称 : High1 Ice Hockey Team  
 韓国語名称 : 하이원 아이스하키팀  
 本拠地 : 韓国 江原道 春川市  
 ホームリンク : ウィアムアイスリンク  
 ユニフォーム : ホーム (黒)、ビジター (白)

# チーム紹介

## K-Hockey Pick-up player!

### High1を勝利に導く守護神

オム・ヒョンスン( )・GK 背番号31)

オム・ヒョンスンがルーキーとして入団したのは昨シーズンの事だ。前シーズンまで正GKとしてチームに貢献したソン・ホソン( )がハルラに移籍、入団直後からいきなり正GKという大役を任される事になる。

そしてデビュー戦でもある昨シーズンの開幕カード・対王子製紙(現王子イーグルス)戦に先発し、2試合で88本のシュートを打たれながらも2失点に抑える大活躍。その後の試合も好守を続け、このシーズンのヤング・ガイ・オブ・ザ・イヤー(新人王)を獲得するまでになる。



ゴールを死守するオム・ヒョンスン(右)【撮影 = MAKI】

「2年目のジンクス」という言葉がある。ルーキーシーズンを期待以上の成績で過ごしたオム・ヒョンスンにとっても、その言葉の意味は非常に重い。

しかし、その言葉に耳を貸す事なく、夏の合宿では気合を入れるためにトレードマークの長髪をバツサリ切り、坊主頭で登場して周囲を驚かせた。それだけ2年目のシーズンに懸けているのだろう。

それを証明するかのごとく、今シーズンも開幕からHigh1ゴールを死守し、チームメイトからの信頼は絶大だ。

「安定したプレーを目指す」オム・ヒョンスンは、アジアナンバーワンGKとなるため、今日もHigh1ゴールに立ちふさがる。

High1守護神の鉄壁セーブに注目だ!

【オム・ヒョンスン / ( )】

1984年5月28日生まれ / 景城高校 - 延世大学

### = Other Pick-up players =

昨シーズンの得点王 & ポイント王を獲得したアレックス・キム (FW・背番号79) は今シーズンもポイントを量産中。2シーズン目で絶好調のイ・ヨンジュン ( :FW・背番号16) や、韓国チーム唯一の日本人選手・金丸 久 (GK・背番号39) も要チェック!

## 【成長を続ける若きチーム、High1】

2004年、カンウォンランド( )アイスホッケーチームとして創団。2005-2006シーズンからALに参加。ホームタウンは江原道春川市( )だが、練習リンクやチーム事務所等はソウルにある。2007-2008シーズンからHigh1に改称された。

創団当初は、解散した「ドンウォン・ドリームス( )」や「現代オイルバンカース( )」でプレーした選手を集めてチームを構成していた。当時からハルラに対する対抗心は強く、ハルラとの「韓国ダービー」ではライバル心をむき出しにした名勝負を繰り返している。

現在は当時を知る経験者が減り、若い選手を中心としたフレッシュなチーム構成となっている。

AL参加初年度の2005-2006シーズンは9チーム中7位に終わったが、2006-2007シーズンは総合3位の好成績を挙げ、現在も日々成長を続けている。

また、創団時から監督を務めているキム・ヒウ( )氏は国際審判員の資格を持ち、2004-2005シーズンまではレフェリーとしてALに携わった。

High1の全選手紹介は、アジアリーグホームページ (<http://www.alhockey.jp>) もしくは、K-Hockey! サイト (URL 末尾記載) をご参照願います。

# 韓国のアイスホッケーチームを応援に行こう！

## 12/17 SEIBU vs アニャンハルラ、1/21 SEIBU vs High1

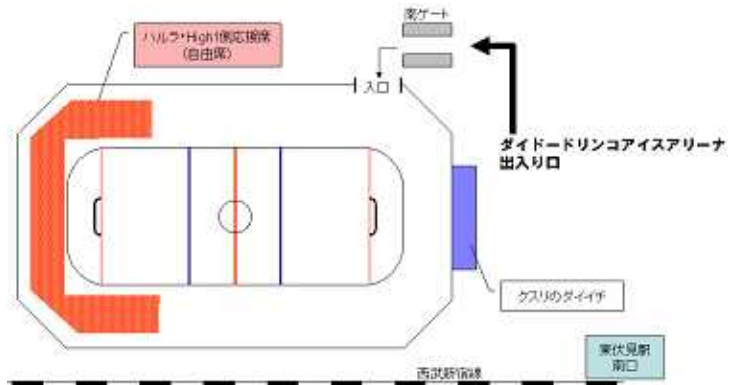
### ダイードリンコアイスアリーナ（西武新宿線：東伏見駅前）にて開催

11月27日現在、**アニャンハルラが3位、High1が5位**と、プレーオフ出場権の5位以内の位置にいます。

残り数試合となりましたアジアリーグ2008-2009ですが、**東京でもあと2試合、両チームの試合が行われず**（レギュラーリーグ上位5位以内に入ると、東京でプレーオフを戦う可能性があります）。

残り2試合の試合会場である**ダイードリンコアイスアリーナ**は、**西武新宿線・西武新宿駅から約25分の東伏見駅**にあります。韓国2チームが更に上位へ浮上できるように、**試合会場で直接応援しませんか？**

試合会場のダイードリンコアイスアリーナは、会場の約1/3がビジター応援席（自由席）となります。



対戦相手SEIBUプリンスラビッツの応援カラーは青です。

アニャンハルラのチームカラーも青なので、ビジターカラーの白で応援しましょう。High1のチームカラーは赤です。みなさんもそれぞれのチームカラーの上着、マフラー、ハンカチなどを用意して、アリーナを**それぞれのチームカラーで埋めて**韓国2チームを応援しましょう！

**12月17日（水）19:15試合開始**  
SEIBUプリンスラビッツvs アニャンハルラ

**1月21日（水）19:15試合開始**  
SEIBUプリンスラビッツvs High1

入場料（当日自由席券）：1,500円  
チケットに関するお問い合わせ：

SEIBUプリンスラビッツTEL 042-462-7130



※東伏見：西武新宿線西武新宿駅から約25分、急行の場合は、上石神井駅で乗り換え

- 選手入場時は、拍手と「 **Fighting** 」の声援で迎えましょう。
- 得点時は、得点した選手の名前をコールしましょう。
- 他にもいいプレーをした選手やお気に入りの選手を大声で叫びましょう。
- 両チームの応援フラッグをK-Hockey! サイトに用意しました。ダウンロード、カラー印刷し応援グッズとしてお持ちください。 <http://khockey.web.fc2.com/flag.html>

韓国のチームを日本でも応援している事をアピールすると、選手も大いに力を発揮してくれるはず。日本のチーム相手に奮闘する韓国2チームや選手と一緒に盛り上げましょう！



アイスホッケー情報誌

## Breakaway

<http://breakaway-hockey.info/>

LOVE HOCKEY!!

## 「語りべ」

<http://lovehockey.jugem.jp/>



<http://khockey.web.fc2.com/>

K-Hockey! 通信 第1号 (2008/12/1 発行)

発行人：木村 理，本間“Akkey”啓則

お問い合わせ：[k.hockey19@gmail.com](mailto:k.hockey19@gmail.com)

(韓国語も可)